

投稿規程 (平成 26 年 9 月 17 日改訂)

1. 日本母乳哺育学会雑誌 (日母乳哺育会誌) Journal of Japanese Society for Breastfeeding Research (J Jpn Soc Breastfeed Res) への投稿は、依頼原稿を除き、筆頭著者のみでなく、共著者もすべて本学会会員に限ります。
2. 掲載された論文の著作権は学会に帰属します。したがって別紙 1 を参考に、原稿の著作権は学会に帰属することへの同意、ならびに他誌への重複投稿をしていないことに関して、著者全員が署名 (自筆または押印) した誓約書を投稿時に同封してください。
3. 論文 (原著、症例報告、文献研究、総説など) は母乳または母乳哺育・育児に関するもので、他の雑誌などに未発表のものに限ります。文献研究はこれまでの文献を批評して研究したものを示します。
4. 臨床実験や治験に関する論文は文書による同意を得て行ったことや、倫理委員会の承認を得た研究であることなどを明記してください。また、症例報告でプライバシーを侵害するおそれのある顔写真などは個人が識別できないように配慮してください。
5. 論文の採否は 2 人ないしは 3 人の査読を経たのち、編集委員会で決定します。場合により原稿の訂正を求めることがあります。訂正を求められた論文は編集委員会からのコメント送付後 6 ヶ月以内に訂正してお送り下さい。それを過ぎた場合は新規投稿扱いとなる場合があります。採択された原稿は原則として返却しません。
6. 正 1 部、副 (オリジナルのコピー) 2 部の合計 3 部に電子媒体をつけて送付してください。
7. 電子媒体は e-mail での添付ファイル、CD、フロッピーディスクなどいたします。原稿は、WINDOWS ワード 2000 以上のソフトで、図はパワーポイント 2000 またはエクセル 2000 以上で作成してください。写真は TIFF ファイルで保存してください。
8. 初校は著者校正とし、再校以降は原則として編集委員会で行うものとします。
9. 英語原稿を投稿する場合は、必ず英語を母語とする人に綴り・文法を確認してもらった後に投稿してください (英語を母語とする人により校閲されたことを示す書類を添付してください)。英語原稿の場合は、編集委員会では英文校正はいたしかねます。また、受理の段階で和文抄録 (400 字以内) をつけてください。
10. 投稿論文の書き方
 - ①論文の第 1 ページに、論文表題 (英文付記)、著者名・所属と職名 (共著者を含む、英文付記)、郵便宛名および電話番号、FAX 番号、E-mail アドレスを明記し、原稿枚数、図表、写真の枚数を記載してください。
 - ②論文の構成としては、下記のようにまとめてください。
研究 (原著、文献) 論文: 要旨—緒言—対象・方法—結果—考察—結論—文献—図の説明—図表
症例報告: 要旨—緒言—症例—所見・経過—考察—結び—文献—図の説明—図表
 - ③要旨は 400 字以内で、それだけで論文の内容がわかるように、第 2 ページにまとめてください。
 - ④キーワード (英語で 5 つ以内) を要旨の後につけてください。
 - ⑤英文抄録 (300 ワード以内) をつけてください。ここには題名も英語で記載して下さい。著者名、所属は記入しないでください。必ず英語を母語とする人に綴り・文法を確認してもらった後に投稿してください。英語を母語とする人により校閲されたことを示す書類を添付してください。
 - ⑥用語の統一: 粉ミルク、人工乳、調製粉乳などは人工乳で統一してください。母乳栄養に関して

は、生後6ヵ月以内に果汁・水分などを投与せず、ビタミンK₂シロップと医師が疾病に対し投与した薬品を除き、母乳以外まったく摂取していない場合だけを完全母乳栄養(exclusive breastfeeding)としてください。

⑦原稿は、文章の場合、A4用紙1ページに25×40行で印刷し、図表はA4用紙1枚に1点を印刷し、投稿してください。製本時には、1ページで約1800文字程度になる予定です。図表は1点400字に換算し、原則7点以下としてください。図表は、原則としてモノクロ印刷で見やすいように作成してください(初期設定がカラー印刷のソフトで作成した場合、モノクロ印刷にすると見にくい場合があります。必ず、モノクロ印刷を想定して作成してください。)本文は図表を合わせ、原則として12,000文字以内にして下さい。

⑧度量衡はkm, cm, mm, l, ml, kg, mg, mEq/l, mg/100mlなどの単位を、数字は1, 2, 3などの算用数字を用いてください。

- 1.1. 話題提供、編集委員会へのご意見は学会員に有益と判断される場合に編集委員会の判断にて掲載します。なお、これらは論文としての扱いとなりませんので英文抄録は不要です。編集委員会からの依頼原稿以外は、字数は3600字以内としてください。
- 1.2. 所属施設で倫理審査ができない場合には学会で審査を行うことができます。ご希望の方は、編集委員長までご連絡をお願いします。
- 1.3. 投稿にあたり、利益相反の開示すべき項目の有無を申告してください。該当しない場合には「日本母乳哺育学会の定める利益相反に関する開示事項はありません」と論文の末尾に記入してください。

本学会が規定する利益相反の開示すべき項目は以下の通りです。

- ①産学連携活動に係る受け入れ額が、1企業あたり年間200万円以上(所属機関からの間接経費が差し引かれる前の金額)の場合
 - ②コンサルタント、指導、講演、給与としての個人収益が、1企業あたり年間100万円以上(税金や源泉徴収額を引く前の金額)の場合
 - ③産学連携活動に係る個人収益(公開・未公開を問わず、当該企業の株式等の出資・取得・保有及び売却・譲渡、ストックオプションの権利譲受、もしくは、役員報酬、特許権使用料等)が1企業あたり年間100万円以上あった場合(但し、投資信託、もしくは、当該個人によって管理・制御できない多角的なファンドにおいて資金運用される場合を除く)
 - ④上記1~3のいずれかに該当する企業に一親等の親族が現在勤務している場合
- *個人収益の場合は、前年の1月1日から12月31日まで、ただし、寄付金や企業からの受託等、産学連携活動に係る研究の場合は、前年4月1日から本年3月31日までの期間でも可。

該当する場合には「日本母乳哺育学会の定める利益相反に関する開示事項に則り開示します。(企業名)から(〇〇円)」と論文の末尾に記入してください。

申告書の著者サイン欄に全員のサインを記入(自筆)して下さい。

本学会の定める利益相反に関する開示事項1・2・3・4について「該当する・該当しない」を○で囲み、該当する場合は企業名と金額を記入してください。

共著者が多い場合、申告書をコピーし使用して構いません。また、著者個人ごとに申告書を作成しても構いません。

文献の書き方

本文中には、登場順に算用数字で通し番号を付け（括弧付けの番号で、例：¹⁾）、文献の欄では、通し番号を文献の前に記載し、本文中の番号と対応できるようにしてください。

著者は3名までは全員を、3名以上の場合は3名までを書き、他や *et al.* を付けてください。また、単行本の場合は編者の名を記入してください。

雑誌の場合 著者名、論文題名、雑誌略名、年；巻：ページ初—終

著書の場合 著者名、表題、編者、書名、版数、発行社、発行地、発行年（西暦）；引用ページ初—終

例：

雑誌の場合

1. 有田昌彦、疫学調査による乳幼児期のアトピー疾患発症と栄養法の関係、アレルギー、1997；46：354-369

2. Sicherer SH. The impact of maternal diets during breastfeeding on the prevention of food allergy. *Curr Opin Allergy Clin Immunol* 2002;2:207-210

著書の場合

3. 奥山和男、新生児の栄養、小川雄之亮、多田裕、中村肇他編、新生児学 メディカ出版、大阪、1995；333-350

4. Miyasaka K. Mechanical Ventilation. In :Holbrook PR, ed. *Textbook of Pediatric Critical Care*, WB Saunders, Philadelphia, 1993;442-464

掲載料

組みあがり4ページまでの印刷に要する費用は学会が負担します。4ページを超える部分の印刷に要する費用は著者の負担とします。5ページ以降は1ページ約5,000円の負担となります。別刷は30部まで無料、これを超える分は実費で印刷しますので、校正の時に希望部数を朱書きしてください。また、カラーページ、マキアート紙、その他特別注文のものは著者の実費負担となります[カラー写真を使用する場合は見開き2ページ単位6万円の著者負担となります]。

原稿送り先

日本母乳哺育学会雑誌編集委員会

〒232-0016 横浜市南区浦舟町4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター

総合周産期母子医療センター 岩崎志穂

郵送にあたっては「簡易書留」扱いでお送りください。また、封筒には投稿原稿在中と表記してください。

電子媒体送付先

編集委員会宛に添付ファイルでお送りください。 jjsbr-office@umin.ac.jp

誓約書

年 月 日

下記投稿論文の内容あるいは主要部分を他誌に投稿していないことを誓約します。
また、本論文が採択されたときは、その著作権を日本母乳哺育学会に委譲することを承認いたします。今後、学会ホームページ上にて公開された場合にも、この電子媒体による著作権も学会に委譲することを承認します。

著者（共著者を含む全員）自筆
